

令和2年度

川口の学校ファーム

～川口市学校ファーム推進事業～



令和3年3月

川口市教育委員会

あいさつ

子供たちが農業体験を通じて自然とふれあい、命の源となる農業と食物の大切さを知り、理解を深めることは、よりよい生き方を求めていく上でとても重要であります。平成21年度より、本市で進めております「学校ファーム推進事業」も12年目を迎えました。

令和2年度は、本町小学校、神根小学校、安行小学校、神根東小学校、新郷東小学校、戸塚東小学校、戸塚北小学校、東中学校、芝西中学校、八幡木中学校の10校をモデル校として指定しました。

本年度の推進指定校の特色ある取り組みを、リーフレットにまとめました。各校におかれましては、新型コロナウイルス感染拡大防止のための対策を講じながら、学校応援団との連携や近郊の敷地の有効活用、学校内敷地の花壇やプランターを利用した作物栽培など、創意工夫を凝らして、本事業に取り組んでいただきました。推進校からは、子供たちが栽培から収穫までを体験することで、食物を育てる難しさに気づくとともに、収穫する喜びを味わうことができたとの報告もされております。

学校ファームにおける農業体験は、子供たちに、自然の恩恵や食に関わる人々の様々な活動への理解を深めさせるとともに、農業体験活動を通して生きる力を身に付けることができるものと確信しております。今後も、学校ファームの取組が、多くの皆様のご理解をいただきながら発展していくことを心から期待し、あいさついたします。

川口市教育委員会教育長

茂呂 修平

目 次

令和2年度学校ファーム推進事業指定校

本町小学校	P 1
神根小学校	P 3
安行小学校	P 5
神根東小学校	P 7
新郷東小学校	P 9
戸塚東小学校	P 1 1
戸塚北小学校	P 1 3
東中学校	P 1 5
芝西中学校	P 1 7
八幡木中学校	P 1 9



令和 2 年度

川口市立本町小学校

校長 関口 景子

住所 川口市本町 2 丁目 4 番 6 号 電話 048-222-2101 FAX 048-222-2156

URL <http://honcho-e-kawaguchi.edumap.jp>

1 はじめに

本校は、東京都と隣接した幹線道路に面し、駅前の商業地区にタワービルが並び立つ市内の中心地に立地している。隣接地は現在もタワーマンションの建設が進み、人口増加とともに児童数も増加しているところである。学区内は、公園を含む緑地が少ない生活環境であり、本校の児童が敷地内の学校ファームにおいて土を耕し、野菜を栽培し収穫するなどの学習は、自然に触れ、豊かな心をはぐくむ貴重な体験活動となっている。

2 対象学年

学年	栽培した植物	教科等	備考
1・2 年	サツマイモ ミニトマト	生活科	学校ファーム 植木鉢
4 年	ゴーヤ	理科	学校ファーム 植木鉢
6 年	ジャガイモ	理科	学校ファーム

3 取組内容

(1) 1・2 年

学校ファームを利用して 1・2 年生がサツマイモを植え付け、収穫している。

2 年生が収穫したサツマイモは、給食の食材として利用し、食への関心を高め、



食育の学習につなげている。

また、生活科では、成長の様子を観察する活動を通して、世話をする楽しさや収穫の喜びを味わう学習を行った。学習のまとめでは、サツマイモのつるを利用して、リース作りを行った。



(2) 4年

学校ファームにおいて、ゴーヤを栽培し、夏はグリーンカーテンとして利用し、収穫したものは、理科の学習に使用した。

(3) 6年

学校ファームにおいて、ジャガイモを栽培し、理科の実験に活用した。

4 成果と見通し

(1) 成果

児童が、土を耕して畝をつくったり苗を植えたりする活動を行い、自らの手で食物を育てることで、成長の過程に気付いたり、収穫の喜びを味わうとともに食への関心を高めることができた。

食育を通して食に関する知識を身に付け、食物への感謝や、食べられる喜びを味わうことができた。

秋に地域の方々の協力を得ながら、収穫祭を行い、児童が作った食物を食材として地域の方と調理したり、総合的な学習の時間などの教科・領域ごとの体験学習に組み入れたりして、学習効果を上げられるものである。

(2) 課題

学校ファームの土壌の栄養状態や耕作に適した状態を保つために、教科・領域の単元配列を調整し、耕作に適した状態を維持する。

保護者や学校応援団など地域の教育力を活かして、学校ファームにおいて、必要な活動の支援を得ていく。

川口市立神根小学校

校長 中村 義郎

住所 川口市大字道合 1111 番地 電話 048-281-3249 FAX 048-281-0925

URL <https://www.sch.kawaguchi.saitama.jp/kamine-e>

E-mail 310.09000@city.kawaguchi.saitama.jp

1 学校・地域の実態

本校は、川口市の中北部に位置し、市内でも最も自然環境が豊かな地区の一つである。

周辺には、植木・園芸農家も多い。本校では、平成20年度から学校ファームを設置し、生活科や総合的な学習の時間の年間指導計画を見直し、主に低学年と特別支援学級の生活単元学習を中心に教育課程に位置づけて、神根っ子ファームでの栽培活動に取り組んでいる。また、理科、社会、家庭などの教科とも関連づけながら積極的に学校ファームの活用を図っている。

地域の豊かな自然環境と地域の方の全面的な協力を得られる本校のメリットを生かし自然とのふれあい、地域の人とのふれあいを通した豊かな体験活動を進めている。



2 対象学年

1 年 3 年 5 年 6 年 特別支援学級

3 取組内容

学校ファームで作物を育て、収穫する。

本年度は、ジャガイモ、大根、サツマイモなどを栽培してきた。感染症対策を講じながら地元の農家の方の指導をうけ、年間の栽培計画をもとに活動の実施ができた。

1 年・特別支援学級 サツマイモの収穫



3 年 農家見学



5, 6 年委員会活動・学校応援団による環境整備



4 成果と見通し

(1) 成果

- ・学校応援団（おやじの会、みどりのゆびの会）の方の協力のもと、感染症対策を講じながら、可能な限りの体験活動を実施することができた。
- ・おやじの会のメンバーでもある地元農家の方のご指導のもと栽培計画を立てて、作物を栽培し、収穫することができた。例年は、地域イベントでの販売やPTAふれあいまつりを通して地域との交流を図っているが、本年度は感染症対策を優先し、来年度への引継ぎを行った。
- ・1, 2 年生は、授業の中で、草取り・植え付け・収穫が実施でき、かみねっ子ファームへの関心が高まってきた。本年度は、収穫したジャガイモやサツマイモは家庭に持ち帰り家族で食べる活動とした。

(2) 見通し

- ・総合的な学習の時間、生活科などの年間指導計画を見直し、各教科等のねらいに即した計画的な観察や除草作業ができるようにしてファームの活動をさらに充実させる。
- ・保護者や地域の方にも学校だよりやHP等で活動をアピールし、かみねっ子ファームを児童と保護者や地域の方との交流の場にしていく。

川口市立安行小学校

校長 池田 光伸

住所 川口市安行原 2020

電話 048-295-1803 FAX 048-295-1975

URL <http://angyo-e.sakura.ne.jp/>

学校ビオトープ、食育と関連させての学年ファームの活用

一循環型の環境活動に位置づけて

安行小学校では、学年園は「各学年の栽培計画にもとづいた作物の栽培する畑」ということにとどまらず、「様々な植物、生き物が棲む学校ビオトープ」としても位置づけて活用している。また自校給食という条件を活かして食育との関連も図った活動を行っている。

1 対象学年（各学年の栽培計画）

1 年 サツマイモ 2 年 ナス、ピーマン、トマト、キュウリ、シシトウ

3 年 キャベツ ヒマワリ 4 年生 ツルレイシ 5 年 稲 ジャガイモ

6 年生 ジャガイモ

今年度はコロナ禍のなか、春先、学校は休校となり、植えつけ等は教師が行った。作物の生長の様子はホームページに掲載、動画でも配信した。

2 取り組み内容

① 学校ビオトープとしての学校ファーム

5 年生が稲作りを行う「田んぼ」は日本型ビオトープと言われるほど、様々な生き物が育つ場でもある。安行小では 5 年生の理科教材のメダカを田んぼでも育てている。2 年生がプールで毎年救出しているヤゴは田んぼに放して育てている。田んぼから羽化して飛び立っていくトンボを観察することは感動的な体験となっている。6 年生では田んぼに育つタニシをエサにしてホタル飼育、ホタル鑑賞会も実施している。

埼玉県準絶滅危惧種に指定されているアカガエルも学校で保護活動をして育てている。数少ないアカガエルの卵からオタマジャクシ、カエルにまで育て、田んぼへの放流をくり返してきた。ここ 2、3 年は順調に田んぼでの産卵がみられるようになった。3 年生ではキャベツを育てながら、モンシロチョウの学習をしている。田んぼだ

けでなく学校ファーム全体が学校ビオトープとなっている。今年度は田んぼだけでなく、池作りにも取り組んだ。

② 食育との関連をはかる

安行小学校は自校給食校であり、独自献立や、追加献立が可能となっている。1年生のサツマイモを給食でふかし芋にして出してもらい、4年生のツルレイシは油でこんがり揚げゴーヤチップスとして人気メニューとなっている。学校ファームの周りで育



つかき、ミカンも子ども達が収穫して秋のカキ入りカレーや、ミカン果汁として調理に使っている。子どもが自分で育てたもの、身近な果樹を収穫して食べる機会を大切にしている。



③ 循環型の土づくり、畑づくり

安行小学校では動物飼育としてヤギ、ウサギを飼育している。エサは購入もしているが、学校ファームの野菜、給食から出る野菜くず、麺、パンの残りは大事なエサとなっている。ヤギやウサギの糞は堆肥にして畑の土作りに使っている。夏はヤギを学校ファームにつなぎエコ除草をしている。



給食に出るデザートやミカンやメロンの皮などはコンポストにに入れて堆肥づくりをしている。安行小は古い学校で樹木が多く、秋から冬にかけてたくさん落ち葉が積もる。落ち葉だめも数カ所に作り、ねかせて腐葉土として、畑に入れている。



成果と見通し

このように、安行小では学校ファームをそれだけのものとはせず、学校ビオトープ、食育、循環型の土作りなど、様々な観点から教育活動の場として活用をしている。学校ファームにある落ち葉だめからカブトムシが羽化しているのを見つけ、畑の石垣のすきまにいるカナヘビを捕まえて、子ども達の歓声があがる…それが安行小の学校ファームの特徴となっている。今後も様々な学校ファームの活用を図っていく。

川口市立神根東小学校

校長 高橋 眞一

住所 川口市大字石神 1 4 4 0 電話 048-295-1817 F A X 048-295-1819

URL <http://www.sch.kawaguchi.saitama.jp/kaminehigashi-e/>

1、対象学年 1年 2年 3年 5年

2、取り組み内容

- (1) 菜の花
- (2) ビオラ チューリップ
- (3) さつまいも
- (4) 米作り「バケツ稲」



神根東小マスコット
こもれびちゃん

3、成果と見通し

- (1) 菜の花の種をまくことで、学校が菜の花でいっぱいになる喜びを感じます。もうすぐ春を感じることができます。(3年生)
- (2) ビオラとチューリップの球根を植えました。お花を育てることで、植物に親しみを持ち、成長していることに気づくことで、植物にも生命をもっていることを知り、大切にしています。チューリップの球根を真ん中に植えたので、花が咲くのが待ち遠しいです。(1年生)



(3) さつまいもを育てて、野菜の成長には、継続的な世話や、太陽光や土などが必要であることを学び、収穫できた喜びを感じました。(2年生)



(4) お米を育てることで、主食である「米」に関心を持つことができました。苗の観察にも興味を持ち、育てたお米を収穫することは喜びでした。わずかなお米でしたが、育てる大変も知り、米作りの方々への感謝の気持ちも生まれました。(5年生)



4 こもれび広場

本校には、こもれび広場があります。今年度は更に学校ファームの取組もあり、とても自然豊かです。生活科や総合的な学習の時間で自然に触れることができます。こもれび広場にあるこもれび池には、地域の方のご協力により毎年7月に、見事な古代ハスが咲きます。



川口市立新郷東小学校

校長 石川 庸子

住所 川口市峯 361 番地 電話 048-295-1007 FAX 048-295-1152

URL <https://shingohigashi.edumap.jp/>



1 はじめに

本校は川口市の東南に位置し、草加市に隣接している。学校周辺には、遊水地「新郷東部公園」が広がり、生活科や総合の学習の時間、持久走大会、異年齢集団等、様々の教育活動で広く利用している。また、敷地内に学校ファームがあり、学校応援団の方に協力していただきながら年間を通して多くの作物を栽培している。



さらに花壇には、たくさんの種類の花が植えてあり、児童が豊かな心をはぐくみ自然と触れ合える環境を整えている。

2 対象学年

学年	栽培した植物	教科等	栽培方法
1 年	アサガオ、チューリップ、ダリア、マリーゴールド、コスモス、落花生	生活科	植木鉢、学年園 学校ファーム
2 年	ミニトマト、サツマイモ、枝豆、玉ねぎ、かきな、ブロッコリー、ハウレンソウ 小松菜、ミニ大根、ラディッシュ、春菊	生活科	植木鉢 学年園 学校ファーム
3 年	ハウセンカ、ひまわり、大根、キャベツ	理科、総合	植木鉢 学年園
4 年	ツルレイシ、ヘチマ	理科、総合	学年園
5 年	アサガオ、インゲン	理科	植木鉢
6 年	ジャガイモ、ハウセンカ	理科	学年園
給食委員会	ジャガイモ	委員会	学校ファーム

3 取組内容

1年生（生活科） 落花生の収穫。 各家庭で試食。 ・ゲストティーチャー 学校応援団・（栄養教諭）		2年生（生活科） サツマイモを収穫。 給食で活用。 ・ゲストティーチャー 学校応援団・（栄養教諭）	
3年生（総合） 大根の種まき、間引き、収穫。給食で活用。 ・ゲストティーチャー 学校応援団・（栄養教諭）		4年生（理科） 学年園で育てた、ツルレイシのグリーンカーテン。栽培し、継続して観察活動。（担任指導）	
5年生（理科） インゲン、アサガオを栽培した。理科の実験で活用。（理科専科）		6年生（理科） ジャガイモ、ホウセンカを栽培した。理科の実験で活用。（理科専科）	
給食委員会 ジャガイモ掘りを体験後日、給食に活用。 ・ゲストティーチャー 学校応援団・（栄養教諭）		学校応援団の方に感謝の気持ちを伝えるため、お手紙を渡し交流。（担任指導）	

4 成果と見通し

（1）成果

- ・児童が、栽培から収穫までを経験したことで、食物を育てることの大変さ、難しさ、収穫時の喜びを味わうとともに、学校応援団の方への感謝の気持ちを育てることができた。食育を通して児童が新しい知識を身に付け、給食で食すことで食物のありがたさを学び、自然・食物の大切さを感じ取ることができた。さらに、学校・家庭・地域が連携し、潤いのある環境づくりを推進している。

（2）今後の見通し

- ・用具を揃え学校ファームを整備し、児童の興味・関心を一層喚起する。
- ・各学年や学校応援団と連携し、余裕を持って計画的に栽培・収穫できるようにする。

川口市立戸塚東小学校

校長 小澤 英敏

住所 川口市戸塚東 2-18-20 電話 048-295-7887 FAX 048-295-7896

URL <http://www.sch.kawaguchi.saitama.jp/tozukahigashi-e/>

1 学校概要

本校は昭和 59 年に開校し、39 年目を迎える 24 学級、児童数 649 名の学校である。

本校から北西へ 800 m ほど、歩いて 10 分の距離にあるボランティアの方の菜園をお借りして、学校ファーム事業に取り組んでいる。



2 対象学年と栽培している作物

3 年生 (特別支援学級児童も含む) 総合的な学習の時間	平成 30 年度	さつまいも、里芋
	令和元年度	さつまいも、里芋
	令和 2 年度	じゃがいも、里芋
	令和 3 年度 (予定)	じゃがいも、里芋

3 取組内容

(1) 1 学期の取組

取組内容	備考
・学校ファームでじゃがいもと里芋を育てる話を聞き、関心を持つ。 ・作物の育て方について、自分が探究したい課題を設定する。	
・学校ファームで草むしりをする。	今年度は休校期間中に、教員で種イモを植えた。
・作物の育て方について、自分の探究したい課題について追及する。(書籍・インターネット・インタビュー)	農家の方にインタビューができなかった。
・学校ファームでじゃがいもの収穫をする。	
・自分の課題と、じゃがいもの収穫について新聞にまとめる。	

(2) 2学期の取組

取組内容	備考
・里芋の収穫について調べ学習を進め、農家の方への質問事項をまとめる。	ゲストティーチャーとして農家の方を迎えることができなかった。
・里芋の収穫方法を農家の方から聞き、収穫をする。 ・調べ学習で出た疑問を、インタビューする。	
・とれた里芋を家で調理し、交流をする。 ・里芋について新聞にまとめる。	農家の方をお招きして感謝を述べる「芋煮会」が開催できなかった。
・農家の方に感謝の手紙を書く。ビデオレターを作成する。	
・新聞づくりのまとめを行う。 ・互いの新聞を読み合い、交流する。	

4 成果と見通し

(1) 成果

新型コロナウイルスの影響で、種まきや、土寄せ、追肥等が満足に行えず、児童に十分な農業体験をさせることができなかった。

一方で、収穫する喜びを味わうとともに、自らの手で収穫した作物を調理して食す感動を体験することができた。



(2) 見通し

来年度以降も、総合的な学習の時間に活動を位置づけ、各教科との関連を図りながら実践を行う。その際、育てる野菜の適時性を考慮し、種や苗の選定を図る。

今年度は叶わなかったが、作物を育てるための細かな手順や苦労などについても実感を伴って理解できるように、指導計画を見直していく。



里芋がこうやってできているなんて、はじめて知りました！



川口市立戸塚北小学校

校長 櫻井 秀子

住所 川口市東川口3-12-1 電話 048-294-5115 F A X 048-294-5125

URL <https://www-sch-todukakita-kawaguchi.edumap.jp/>

1 栄養のバランスを考えて

(1) 対象学年

・5年生

(2) 取組内容

ア 調理をする野菜の苗を植える。(白菜・ブロッコリー)



苗植えスタート！
元気に大きく育ち
ますように！



土はこれくらいで
いいかな。

(白菜の苗植え)



ビニールの穴が開いてあ
るところに植えるんだ
ね。

(ブロッコリーの苗植え)



苗を植えたら、鳥よ
け用にネットをか
ぶせる。

苗が育ってきたら、
アーチ状の枠を立
て、ネットに高さを
出す。



イ 家庭科のゆでる・いためる調理の発展として、栄養バランスまで考えた料理を計画する。

・プリントに、収穫した野菜をどのように調理するのかを考え記入する。

ウ 野菜を収穫する。

- ・ 1 2 月上旬頃、十分に育った野菜から順次収穫を行う。



上に向かって引っ張れば、簡単に収穫できたね！

こんなに大きな白菜がとれたよ！



ブロッコリーは包丁を使って収穫。緊張したけど、無事たくさん収穫できました！



自然の恵みだけで育った無農薬野菜！（12月上旬頃）

エ 自宅で調理をし、プリントに感想を書く。



戸塚北小学校で収穫された白菜を鍋に入れて食べました。いつもスーパーで買っている白菜よりも美味しく感じました。（子供の感想）

この白菜は無農薬で、新鮮だったので、とてもおいしかったです。そして、切ったりゆでたりすることをしてしっかりやりました。また何か自分で料理してみたいです。（子供の感想）

不足しがちな野菜もお鍋にするとたくさん食べられて体も温まりました。お鍋には欠かせない「白菜」とても美味しくいただきました。（保護者の感想）

無農薬のお野菜だからおいしいよ！とすごくうれしそうにもってかえてきました。一緒にしましたが少しずつ包丁の扱いも怖くなってきましたようです。新鮮だったので、とてもしゃきしゃきしていておいしかったです。次の日はサラダにも使いました。（保護者の感想）



2 成果と見通し

この活動を通して、栄養バランスのとれた食事を調理するために、どのような食材を使えばよいのかよく考えることができていた。また、無農薬野菜のおいしさを感じ、自分が育てた野菜に愛着を持つことができた。

実際に調理を自分で行ったことで、今後も作ってみたいと意欲を持つことができていた。

川口市立東中学校

校長 安部 正幸

住所 川口市東本郷 2 - 2 0 - 4 7 電話 048-281-4065 FAX 048-281-4074

URL <http://higashi-j.sakura.ne.jp>

1 ねらい

生徒が野菜など自ら育て収穫し、食べることを通じて、生命や環境、食物などに対する理解を深め、情操を養い生きる力を身につける。

2 対象学年

- ・特別支援学級・・・畑を作り、野菜を自ら育て収穫する。
- ・総合科学部・・・畑で野菜を育て収穫をする。

3 取組内容

(1) 野菜の栽培と収穫体験

(特別支援学級)

ア 畑作り

本年度は、新たな畑を作るため畑作りを行った。機材をお借りし、土を耕すのを地域の方に手伝っていただき、ゼロから畑を作ることに挑戦した。



ゼロからの畑作り ↑

イ 畑で野菜の栽培

苗を植え、水やり当番を決め取り組んだ。長期休業中は、委員会の生徒が当番を決め水やりを行った。



栽培の様子 ➡

ウ 収穫体験（収穫祭）

野菜を栽培し、収穫を行った。例年は、収穫した野菜を調理し、教職員を招待し、生徒と教職員が交流をしながら食べることにより、食物への感謝を感じている。本年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため調理実習は行わず、収穫して野菜を教職員と生徒で持ち帰り、家庭で調理をし、食べることにより、食物の恵への感謝を感じる機会とした。

エ 地域・保護者の支援

畑作りにおいては、地域の方が畑を耕していただいたり、耕運機などの機材を貸していただき、地域の方の力を借りながら学校ファームの運営を行った。

（２）部活動での野菜の栽培（総合科学部）

総合科学部の活動の中で、野菜の栽培、収穫体験を行った。HP や本でそれぞれの野菜に適した栽培方法などを学んだ上で、野菜が育つ上でより良い環境を考え栽培を行っている。日当たり、水の量を変え栽培し比較することで、適した環境を学ぶとともに、食物を育てることの難しさを感じることに繋がっている。



総合科学部の畑 ↑

4 成果と課題

（１）成果

- ・野菜の栽培、収穫体験を通し、食物を育てることの難しさを感じるとともに、食物への感謝の心を育むことができた。
- ・食物の栽培を、地域の方、委員会の生徒など協力して行うことで、畑作りが人と学校を繋ぐことにつながっている。

（２）課題

- ・今後は特別支援学級、部活動の生徒だけではなく、総合的な学習の時間などで学年単位での取り組みとしていく。

川口市立芝西中学校

校長 星野 泰久



住所 川口市芝塚原 1 - 11 - 13 電話 048-266-5530 FAX 048-266-5136

URL <https://shibanishi-j-kawaguchi-saitama.edumap.jp>



1 学校概要

本校は創立 49 年目を迎える蕨駅と南浦和駅の中間の線路沿いに位置する学校である。学級数は 11 で在籍生徒数は 365 名（4 月当初）。学区内には外国籍の生徒が多いが、学区制に戻ったこともあり、今後は生徒数が減っていくことが予想される。



芝西中学校全体写真

2 対象生徒

環境委員会及びボランティアの生徒



休校中の学校ファーム

3 取組内容

（１）環境整備

昨年度、樹木を切り空いたスペースを学校ファームとして整備することになった。コロナ禍の影響で夏野菜が間に合わずそのままになっていた。そのため、雑草だらけで学校ファームとして利用できる状態ではなくなってしまったので、環境整備から始めた。



休校明けの学校ファーム



環境委員とボランティアの生徒たちで雑草取り



環境委員がブロックを並べて学校ファームとして整備



土を入れて完成した学校ファーム

(2) 植え付け・水やり

環境整備した場所に植え付けを行い、環境委員が順番に水やりを行った。



イチゴやジャガイモ
ブロッコリーの苗植え



畝を作って
大根・人参・カブの種まき



クラスごとに協力して
水やりを行う

(3) 収穫

野菜の生育具合によって収穫時期がまちまちとなった。アオムシなどの虫が付き、葉や根などを食べられてしまったが、収穫できるものを収穫した。



4 成果と課題

《成果》

- ・今まで農業体験をしたことがなかった生徒も楽しそうに作業ができた。
- ・葉っぱを見て野菜の種類を考えたり、野菜の生長を見たりすることで農業体験に興味をもつことができた。
- ・農業の大変さを実感したことで、農家の人への感謝の気持ちが高まった。



《課題》

- ・今年度は、新型コロナウイルスの影響で夏野菜の植え付けができなかった。
- ・委員会が主体として動いたが、学校ファームの主体をどこが行うか、また時間の確保をどうするか、予算の確保をどうするかの検討が必要である。
- ・新しく学校ファームを作ったが、組織で取り組む体勢を続けることが大切である。

川口市立八幡木中学校

校長 貫井 友宣

住所 川口市八幡木 1 - 2 6 - 1 電話 048-283-4006 FAX 048-282-6633

URL <http://www.sch.kawaguchi.saitama.jp/hachimangi-j/>

1 学校概要

本校は昭和 47 年に開校して 49 年目を迎え、緑に恵まれた落ち着いた教育環境にある。学校教育目標を「自ら学ぶ（知育）」「心豊かな生徒（徳育）」「たくましい生徒（体育）」とし、生活 5 目標（服装・礼儀・時間・学習・清掃）を掲げ、日々学校生活に励んでいる。教職員も「チーム八幡木」の結束のもと、「自他ともに認め合い、高め合い、学力・徳力の向上といじめのない笑顔あふれる学校」を実現させるべく、日々教育活動に取り組んでいる。校内



には、畑があり、毎年、委員会や部活、校務員と連携をしながら野菜などの作物を育てている。

2 活動目的

- (1) 生命や自然、環境や食物などに対する理解を深める。
- (2) 栽培体験を通して、収穫の喜びや食物の生産にかかわる人々への感謝の気持ちを高めるなど、豊かな心を育ませる。
- (3) 栽培、収穫などの体験を通して、情操教育を推進していく。

3 対象学年

生活科学部（1 年・2 年）と環境委員（全学年）で栽培活動を行う。

4 取組内容

(1) 土作り

6 月の放課後に腐葉土と苦土石灰を土にまき、弱アルカリ性の土を作る。1 週間後、再び耕し、肥料をなじませ、黒のマルチを敷く。



(2) 苗の植え付け・種まき・収穫

生活科学部では、きゅうり、スイカ、メロン、エダマメ、ニンジン、トウモロコシを植え、環境委員では、ハウレンソウ、ミズナ、ブロッコリーを植えた。生活科学部と環境委員で協力して水やりを行った。

【生活科学部】



【環境委員】



(3) 収穫後

年度初めの計画では、調理実習で調理をする予定であったが、コロナ禍であったため収穫したミズナやニンジンをスープに入れて給食に出した。(放射性物質検査有)



5 成果と見通し

〈成果〉

- ・土をすることから始めることで農作物や食物について理解を深めることができた。
- ・前期では、生活科学部と環境委員が共同して行い、どちらも、苗植えから収穫までを行うことができ、達成感を持たせることができた。

〈今後の見通し〉

- ・生活科学部と環境委員だけでなく、他の委員会と連携しながら「農業と食物の大切さ」を学校全体に伝えていきたい。
- ・作った野菜を給食の材料にすることで、給食委員や放送委員とも連携し校内のファーム活動をひろめていきたい。